

DREAM CAN DO, REALITY CAN DO



喜びの声

この春から、晴れて東京大学文科一類に入學することになりました。出身が野田村ということもあり、当初は不安ばかりでした。高校入学時から東大に行きたいとぼんやり思っておりましたが、それが叶い大変嬉しく思っております。合格の一番の秘訣は、どんなに模試の成績が散々でも志を合格まで変えなかったことでした。いままで私に温かい目をかけて育てていただいた先生方に深く感謝いたします。

SZ9期生 内野澤 安紀

4月12日は東京大学の創設記念日であり、例年入学式が挙行される日です。東大入学式の場所は日本武道館。東大文Iに合格した内野澤君の入学式に、昨年同じく東大文Iに合格した高館先輩が来てくれて、CHUOの卒業生による東大文I対談が実現しました。

入学式当日は暖かく、九段下の駅から坂道を登る人の波は東大入学式に参加する人の波でした。真新しいスーツに身を包み、誇らしげな顔で歩く人たちが、難関を突破した新入生約3000名とその保護者約6000名が日本武道館のある北の丸公園、田安門前にあふれかえっています。

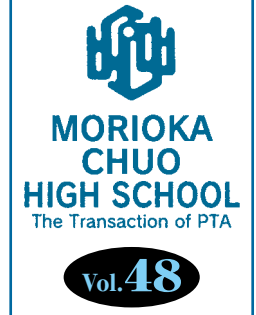
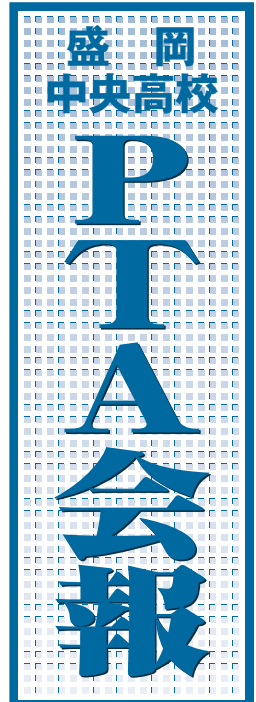
東大入学式の式辞で五神真学長は「今日、世界の社会や文化が、大きく変動する時期を、また迎えています。」と語っています。まさに、この変化の時代をチャンスに捉えて『独立進取』『研鑽努力』のCHUO魂で東大推薦入試に果敢に挑戦したのが内野

澤君です。内野澤君のご両親も野田村から入学式に出席して息子の晴れ姿に目を細めていました。武道館の中に入れるのは、入学する学生1人につき2人までという決まりになっており、武道館の周りには多くの家族が式の終わりを待っています。そこに、昨年の入試で東大に合格した高館先輩が駆けつけてくれました。

澤君と高館先輩の2人が北の丸公園を歩く姿を見て、色々な想いが駆け巡りました。東大文Iという最高峰に立つCHUOの卒業生が、高校時代の思い出話に談笑している様子に感慨深いものがありました。対談の時間はあっという間に過ぎ、そこでお別れとなったのですが、2人の背中には未来を創造する責任と自覚を感じさせられ、とても頼もしく素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。2人のこれからの活躍に大いに期待します。

進路担当副教頭

阿部 良孝



平成30年7月12日
盛岡中央高等学校
PTA会長 熊谷 雄一
在校生徒数 931名
〒020-0122
盛岡市みたけ四丁目26番1号
電話019-641-0458
URL <http://www.chuo-hs.jp>

「新たな出発」



校長 千葉 研二

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。誠に深く感謝申し上げます。さて、本年度も既に三ヶ月が経過しました。高校においては、四月七日の入学式に二百二十二名の新入生を迎え、全校生徒八百七十四名でスタートいたしました。学習合宿、高校総体、六月考査、体育大会と慌ただしい日程でありましたが、生徒諸君は文武両道をめざし本当によく頑張っております。

張っております。また、四月十日には附属中学校の開校式、第一回入学式を挙行し、五十五名の初々しい中学生を迎えました。この五十五名が附属中学校の歴史と伝統を創っていくこととなります。大いなる活躍を期待しております。五月二十三日には新渡戸稲造博士の胸像除幕式、元国連大使・岩手県立大学長谷の谷口先生の講演会を実施しました。開校祝賀会には県内外から多くの方々にご出席いただき、本校に寄せる期待の大きさと責任の重さを痛感した次第です。

高校生が中学生の模範となり、中学生は高校生を手本とし、大志を持って、世界と未来に羽ばたく生徒に成長して欲しいと願うものです。重ねて保護者の皆様のご理解ご協力、ご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

「三兎を追う」ための手帳管理のススメ



PTA会長 熊谷 雄一

平成30年度PTA会長の熊谷雄一です。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

前年度のPTA会報で千葉校長先生がメッセージを贈っていた「三兎を追う」は、私への応援歌にもなりました。その私の毎月毎日の手帳管理への取り組みをご紹介します。

まず、本業でお世話になっている複数組織での役割の予定やPTAでの予定を書き込みます。次に、本業の仕事でお客様巡回の終わりに翌月の巡回日時を記入します。そして、その月で欠かせない月次業務や目標を記入します。突発的な予定が入っても対応できるように余力は必ず残します。この段階ではまだ手帳に余白があります。随時、取り組み残しがないかのチェックもします。一か月が終わると、この余白は埋まってしまう黒いになります。月末にはこの一か月間の活動や目標の達成度を振り返ります。この反省を翌月の活動に生かします。この繰り返しが自分自身の可能性の広がりにつながっています。

不思議なことに、一番大切な本業の仕事が中途半端に終わらずに充実した中身の濃いものとなっています。時間を無駄にせず寸暇を惜しんで様々なことに取り組むことが仕事の身を充実化させるのでしようね。

SSM海外フィールドワーク(フィンランド) 「多く学ぶ」

2年SZ1組 吉田 舜汰

今回、フィンランドに研修に行って来て学んだことはもちろん多かった。学んだことよりも、自分が滞在する前に想像していたことより違った「発見」の方が多かった。

まず初めに教育の文化の違いについて。日本と比べ大きく違う点は、生徒の自主性、積極性である。もちろん、日本のように授業を静かに聞いて、自分で勉強し、質問をする。これも一つの積極性であるといえる。フィンランドでは、自分で調べたり、グループで交流したり、授業中に先生に質問したりすることが多く見られた。例えば、歴史の授業では授業で扱った内容をグループでパソコンを使用し自分たちで調べ、話し合い、パワーポイントにまとめ全体で共有し合う。これを見て、コミュニケーション能力、プレゼンテーション力、また、考える力を養えるなどと思った。枠にとられない自由な感じが良い点でもあるなどと思った。

次にフィンランドは歴史的背景が深いと感じた。ホストマザーからは、今年は独立から100周年であると聞いた。確かに、チョコレートのパッケージにも「100」の文字が大きく書かれていた。また、ロシアとの戦争で建物の上からソルジャーが敵の飛行機をうちおとしたところや、ワイン工場などをラヤマキ地域で見たりした。また、ヘルシンキにある大聖堂の前には統治者であるアレクサンドル2世の銅像があったりして、過去の雰囲気を感じさせるような街並みが特徴的であった。

フィンランドでは、絶滅危機になっているアザラシや白鳥など日本とは違った海洋生物がいる。岩手の海洋にある、植物、魚、哺乳類と比べても違いにばらつきがある。あくまでも推測ではあるが、気候や地形も違い、氷河によって山や海などが削られたということも関係してくるかもしれない。

今回、フィンランドに研修して様々な視点から日本とフィンランドについて比較することが出来た。新たな発見も多く、自分にとっていい刺激になったと思う。今後、今回つけた力を日常生活に生かしたい。生物に関する交流の機会は少なかったが、これから先より岩手の生物について調べ、フィンランドの生徒と海洋生物についてより詳しく考えていきたい。そして、来年も続くようにまとめていきたい。



引率 柴田 大心

今年度は放課後講座をより参加しやすい形にリニューアルし、全学年の希望者を対象に6月考査明けから開講しています。
3年生は英語・数学・国語・理科(物理・生物・化学)の4教科6科目を週5日、12月までの受験対策講座となります。
1・2年生は年4回(7月・11月・1月・2月)実施される進研模試の短期集中対策講座を英語・数学・国語の3科目で開講します。各期ごとに募集しますので、部活動の大会予定などを考慮し、自分のスケジュールに合わせての受講が可能です。日々の授業を土台に講座で演習を積み、自己の目標に向かって研鑽してもらうことを期待しています。

(進路指導課長 佐々木 恵)

放課後講座について

カナダ修学旅行

3年A2組 横欠 奈月



私は修学旅行を通してカナダと日本のマナーや生活の違いについて学んできました。カナダと日本では、自分が思っていた以上の違いがありました。
一つ目は、夜は家族全員

が一つの場所に集まり、過ごす時間があるということです。日本では、家族全員が集まる時間が少なく、一人の時間を大切にしています。カナダは家族の時間を大切にしています。
二つ目は、部屋の扉にかぎがないということ。扉にかぎがないため、どの部屋でも使用中は扉を開け、使っていない場合は扉を開けた状態にしておくというにとっても驚きました。
今回の修学旅行では、今まで体験したことのない様々な身になる経験ができました。この経験を思い出だけでもすすめず、そして今後の自分の成長、そしてグローバル化が進んでいるこの社会の中で、この経験を役立てていきたいと思っています。

1ターム留学

(3カ月留学)をおして

2年SZ2組 跡部 叫

私は2018年の1月から4月までオーストラリア・アデレードで3ヶ月留学をしました。
留学の当初の目的は、①語学力の向上、②異文化理解を深めること、そして③新たな自身の課題発見の3つを掲げていました。留学前は、英語力に自信もなく、英語を学ぶ理由を見つけられずにいました。そのような中で留学がスタートしました。最初の2週間は英語で話しかける事に對して少し不安があり、友達もなかなかできませんでした。しかし、放課後に同じクラスの留学生にサッカーを誘われ、一緒に活動すると不安は無くなり、沢山の友達をつくることにつながりました。彼らと



この経験を生かし、今後の高校生活また、その先にある大学生生活で様々なグローバル活動に取り組んでいきたいと思っています。
海外の友達を持つことで、「彼らとどうも話したい。コミュニケーションのツールとして英語を使いたい、だから英語を学びたいのだ。」という自分の中の英語を学ぶ理由を見つけたことができました。

Zコース2年 グローバルリーダー育成研修

5月11日から5月25日、グローバルリーダー育成研修がアデレードにて行われました。本研修のねらいは将来、日本や世界のリーダーとして必要と考えられる、英語力・課題発見解決能力・コミュニケーション能力などを育成することです。

生徒はホームステイをしながら現地の高校に通学し研修を深めました。様々な文化を学びホストファミリーとのコミュニケーションを図りました。1週目は日本との文化や食事の違いなどに戸惑っている様子も見受けられていたが、2週目は大いに楽しんでいきました。研修先の各学校では英語はもちろんのこと、オーストラリアの文化や動物、先住民族のアボリジニーについても学びました。知識としてだけでなく、西洋の建造物や固有の動物を実際に見ることが出来たのも大切な思い出となりました。

この研修を通じて、生徒達は己の知見を広げ自らの世界観を広げることが出来ました。今回の体験を忘れずに日々勉学に励み、グローバルリーダーになるための資質をさらに身につけて欲しいと願っています。

—2018 CHUO国際姉妹校— 奨学金制度留学プログラム

本校では国際姉妹校から「特別奨学金留学制度」を設立していただき、今回、初年度の留学生を2名派遣します。(2018.6.4～2019.1.19) 派遣生徒(男子2名) 2年Z1組 小山 満喜 畠山 暉大 派遣先であるタイ・バンコクにある姉妹校について紹介します。

タイ

Bangkok Christian College



【交流の歴史】2005年2月に本校と国際姉妹校締結をし、毎年「CHUO国際教育フォーラム」に参加している学校です。姉妹校訪問やSGHアソシエイト校として合同プロジェクト研究を進めるなど、生徒・教員ともに交流を深めています。

【留学プログラム】

Bankok Christian Collegeは伝統ある男子校で、およそ5,000人の学生がいます。同高校にはすべての授業を英語で行う「英語集中コース」が設置されています。そしてこのコースには100名もの英語を母国語とする教員が日々の指導に当たり、学ぶ環境は英語圏の学校と変わらず、集中して英語学習に取り組みます。留学期間中はホームステイまたは学生寮に滞在します。



バンコク中心部にある Christian College

第20回CHUO国際教育フォーラムウィーク

(8月26日～9月3日)

毎年開催している「CHUO国際教育フォーラム」は今年で20回目を迎えます。

テーマ: “An Ideal School in 2030 -Transforming our world using the SDGs 2030年の理想の学校づくり～SDGsをもとに世界を変えよう”

2015年国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』で示された具体的行動指針に基づき、持続可能な世界を実現させるため17のゴールをもとに、2030年にむけての『理想の学校像』を語り合い、創り上げることを目標とします。

【フォーラムウィーク日程(予定)】

月日	主な行事
8/26 日	ホストファミリーと対面 ホームステイスタート
8/27 月	生徒歓迎会 研修会
8/28 火	研修会(アイーナ会議室)
8/29 水	研修会(アイーナ会議室) リハーサル(マリオス大ホール)
8/30 木	第20回CHUO国際教育フォーラム マリオス(大ホール) ホストファミリー夕食パーティー
8/31 金	昇龍祭準備: 海外生徒も参加します。
9/1 土	昇龍祭開催・もちつき大会
9/2 日	ホストファミリーと過ごします
9/3 月	帰国

約80名が
来日します。

ホストファミリー
あと20名大募集

今年も海外から
多くの高校生が
CHUOにやってきます。
ホストファミリーに
ご協力をお願いします。



引率 糸井 真一

火山の多い島国であるため、海のレジャーが盛んで温泉もあります。今回の訪問では、セーリングとホットスバを体験することができました。

2018年度 CHUO国際姉妹校友好交流団【募集案内】
世界に飛び出し、自分の可能性そして友人の輪を広げ
「国際人」としての一歩を踏み出してみよう。

本校は世界中の24校の学校と姉妹校締結をしております。毎年そのうちの何校かを訪問し、生徒同士の交流を深めています。今年度は4カ国の高校へ交流団として参加する生徒を募集します。

派遣期間

	国名 学校名	期日 (約1週間)	派遣 人数
1	マレーシア Taylor's International School Kuala Lumpur	平成30年 12月ころ	3名
2	フランス Blanche de Castille	平成30年 12月ころ	3名
3	アルゼンチン Colegio Ward	平成30年 10月ころ	4名
4	ベトナム(ハノイ) Ta Quang Buu Secondary and High School	平成30年 12月ころ	4名

応募締切

平成30年8月21日(火) 17:00厳守

詳細についてはクラス掲示をご覧ください。

平成29年度 CHUO 海外研修報告会開催

昨年度、海外研修に参加した生徒たちによる報告会を5月2日に開催しました。4月に入学したばかりの中学1年生、高校1年生にとって本校の国際交流活動について知る貴重な機会となりました。

◆報告生徒

1ターム留学				SSPグローバルプロジェクト フィンランド派遣(引率 玉山)			
2	SZ2	跡部 叫	男	2	SZ1	吉田 舜汰	男
CHUO 姉妹校友好交流団 シンガポール派遣(引率 宮崎)				2	SZ2	佐藤 翔哉	男
2	SZ1	石垣 葵	男	2	Z3	岡田 優花	女
2	Z2	阿部 祐加	女	3	Z2	荒木 俊輔	男
3	SZ	田口 瑛人	男	3	Z4	浅沼 未歩	女
3	Z2	田村 美音	女	SGHグローバルプロジェクト ニュージーランド派遣(引率 糸井)			
CHUO 姉妹校友好交流団 セネガル派遣(引率 岩崎)				3	Z2	氏家 快晴	男
2	SZ1	村杉 勇太	男	3	Z2	細川 愛留	女
3	SZ	高橋 拓也	男	3	Z3	石井 壺磨	男
3	SZ	千葉 莉々香	女	3	Z3	宮野 果音	女
CHUO 姉妹校友好交流団 ベルギー派遣(引率 小笠原典)				3	Z4	小野寺 宮春	女
2	Z3	宮本 彩加	女	希望郷いわてグローバルリーダー人材育成事業北米派遣研修			
3	SZ	吉田 櫻	女	3	Z4	小野寺 宮春	女
3	SZ	吉田 百花	女	希望郷いわてグローバルリーダー人材育成事業中国雲南省派遣研修			
3	Z3	鈴木 圭	男	3	Z4	湊 紀奈里	女
CHUO 姉妹校友好交流団 韓国派遣(引率 高橋勝)				「翼」日独高校生交流プロジェクト			
2	SZ2	小泉 陽香	女	3	Z3	菅田 春樹	男
3	Z2	松館 明可	女	第8回ユネスコESDプロジェクト			
3	Z3	瀧澤 諒	男	2	SZ1	吉田 舜汰	男
3	Z4	吉田 朱里	女				



SGH海外フィールドワーク
ニュージーランド派遣報告

平成30年3月17日(土)より27日(火)までの11日間、ニュージーランドの姉妹校オットモエタイカレッジを訪問して参りました。この訪問では、両校の友好交流に加え、SGH(スーパードグローバルハイスクール)課題探究の一環として、一次産業に関する調査研究を行いました。オットモエタイカレッジは、2000人余の生徒が在籍する公立高校です。授業科目には多くの選択科目があり、職業的な科目を選択することもできます。今回参加した5名の本校生徒たちは、それぞれ生徒の家庭にホームステイをしながら、授業体験、牧場訪問、牧場実習などに取り組み、ニュージーランドの基幹産業である畜産業と園芸農業の実際を体験的に学びました。また、ニュージーランドは日本と同じく火山の多い島国であるため、海のレジャーが盛んで温泉もあります。今回の訪問では、セーリングとホットスバを体験することができました。

第70回 高総体 結果

5月22日(火)第70回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式が行われました。今年70回の記念大会ということで、盛大に開催されました。

オープニングイベントとして、総合開会式実行委員会委員長の挨拶のち、「プログラム図案受賞表彰」と特別功労者表彰が行われました。特別功労者は、平成10年度以降のインターハイにおいて全国優勝した指導者及び選手に贈られるものです。本校では、**【H16スキー】開 正夫先生、島山長太さん**
【H16スケート】熊沢直哉先生、千葉 健さん、三浦充晴さん
【H26スキー】伊東雄二先生、三ヶ田泰良さん



が受賞しました。
当日は指導者代表陸上競技、本正園子先生(北上翔南高校)、選手代表ボクシング競技、元世界チャンピオン八重樫 東さん(黒沢尻工業高等学校出身)の2名が表彰されました。
その後、盛岡商業・盛大附属・盛岡中央の高校生91名によるダンス踊りが披露されました。本校のダンス同好会は三校の中心となり、とても美しく踊っていました。その後、岩手女子高等学校書道部11名による書道パフォーマンスが行われました。音楽に合わせて巨大な用紙に大きな筆で書くもので、とても見応えのあるものでした。
開会式後、エンディングイベントとして、IBCの松原アナウンサーの進行のもと、**◎県出身アスリート** 高橋英輝さん(陸上競技競歩)、梅村錬さん(ボクシング) **◎高校生アスリート** 岩淵麗菜さん(スノーボード)、高橋幸平さん(スキー) **◎中学生アスリート** (いわてスパーキッズ)千葉勇真さん(巻堀中)津志田匠太郎さん(西根一中)の6名がクロストークを行いました。なかでも岩淵麗菜さんの人気は高く、コメントする度に会場が沸いていました。
今年度の本校行進生徒は、バスケットボール部男子・ソフトボール部・スキー部47名で構成されました。5本の優勝旗を先頭に、とても立派な行進をしていました。また、1年生による応援活動は、動きも揃い、声も競技場内に響き渡ったり、とても立派で誇れるものでした。他校と比較しても本当に素晴らしい立派な応援で、応援団の生徒達の頑張りを讃えたいと思います。



◎テニス部
[男子]
〈団体戦〉
1回戦 盛岡中央3-0福岡工業
2回戦 盛岡中央1-2盛岡第四
〈個人戦〉
佐藤哲汰(3Z4)

◎ソフトボール部男女
[男子]
決勝 盛岡中央16-0福岡高校(5C)
4年連続5度目の優勝
2回戦 盛岡中央7-8大船渡
[女子]
準決勝 盛岡中央2-1関学院
準々決勝 盛岡中央0-3盛岡南
第3位 盛岡中央
〈個人〉
57kg級 沼端柚有莉(1B2)
78kg級 沖野りょう(3B2)
優勝 沖野りょう(3B2)

◎柔道部(男女)
[男子]
予選リーグ
盛岡中央5-0宮古工業
盛岡中央5-0関工業
決勝トーナメント準々決勝 盛岡中央5-0関学院
準決勝 盛岡中央2-1盛岡大附
決勝 盛岡中央1-2盛岡南
準優勝(藤田・鳥居瑞・鳥居裕・利田・須藤・菊池・勝田)
〈個人〉
81kg級 今野蒼馬(1B2)
100kg級 鳥居裕成(2A2)
100kg級 利田大明(3B3)
100kg級 斉藤翼(1B1)
3位 須藤駿(2B)
優勝 須藤駿(2B)
[女子]
〈団体〉
2回戦 盛岡中央3-0江南義塾盛岡
盛岡中央0-2盛岡工業
[男子]
1回戦 盛岡中央2-1前沢
2回戦 盛岡中央0-2盛岡第三
盛岡中央0-2盛岡第三
盛岡中央0-2盛岡第三



◎バレーボール部(男女)
[男子]
1回戦 盛岡中央2-0大船渡東
2回戦 盛岡中央0-2黒沢尻工業
盛岡中央0-2盛岡第二
盛岡中央0-2盛岡第二
[女子]
1回戦 盛岡中央2-0遠野緑峰
2回戦 盛岡中央0-2盛岡第二

◎ソフトテニス部(男女)
[男子]
〈団体〉
1回戦 盛岡中央3-0江南義塾盛岡
2回戦 盛岡中央0-2盛岡工業
[女子]
1回戦 盛岡中央2-1前沢
2回戦 盛岡中央0-2盛岡第三
盛岡中央0-2盛岡第三
盛岡中央0-2盛岡第三

学校対抗
1回戦 盛岡中央3-1盛岡スコーレ
2回戦 盛岡中央1-3岩谷堂
[女子]
学校対抗ベスト16
2回戦 盛岡中央3-1岩谷堂
3回戦 盛岡中央0-3水沢第一
〈個人対抗ダブルス〉
鎌田彩也華(3A1)・笹平星彩那(3A2)
1回戦 対前沢0-2
菅野佑梨(3B3)・高屋敷芽(3B3)
1回戦 対花北青雲2-0
2回戦 対一関第一0-2
〈個人対抗シングルス〉
鎌田彩也華(3A1)
1回戦 対花北青雲0-2
高屋敷芽(3B3)ベスト16
1回戦 対金石高校2-0
2回戦 対北上翔南2-0
3回戦 対花北青雲0-2

◎陸上競技部
1部男子
400Mハードル
8位 中村郁哉(3A2)

◎バスケットボール部(男女)
[男子]
3回戦 盛岡中央66-43大槌
4回戦 盛岡中央50-98黒沢尻工業
岩手県ベスト16
[女子]
2回戦 盛岡中央52-51大東
3回戦 盛岡中央35-88盛岡第四
岩手県ベスト32
[男子]
〈学校対抗〉 ベスト16
1回戦

◎**サッカー部**
 1 回戦 盛岡中央 9-0 大東
 2 回戦 盛岡中央 1-0 宮古
 3 回戦

個人戦(175名出場)
 田村美音(3A2R) 2回戦敗退
 濱田真衣(2Z1) 3回戦敗退
 金野琴音(2Z1) 2回戦敗退
 女子団体戦(28校出場)
 予選リーグ
 盛岡中央 0(0)-5(10) 福岡高校
 盛岡中央 0(1)-5(10) 遠野高校
 予選リーグ敗退

◎**剣道部**
 [男子]
 個人戦(248名出場)
 佐々木愛斗(1Z2) 1回戦敗退
 佐々木嶺(3Z4) 1回戦敗退
 作山弘樹(3B2) 1回戦敗退
 藤田裕也(1A2) 1回戦敗退
 永田遼河(2Z2) 2回戦敗退
 奥山誉人(3Z4) 2回戦敗退
 佐々木駿(3B2) 2回戦敗退
 樋口琢己(3Z3) 2回戦敗退
 男子団体戦(35校出場)
 予選リーグ
 盛岡中央 1(2)-3(5) 二戸高校
 盛岡中央 1(1)-4(8) 釜石高校
 予選リーグ敗退

◎**空手道**
 [男子]
 個人形 優勝 久慈蓮(3B2)

◎**ハンドボール部**
 2 回戦 盛岡中央 30-22 関工業
 3 回戦 盛岡中央 31-30 花巻北
 準決勝 盛岡中央 24-33 不来方
 第3位 優勝選手 佐々木涼太(3B2)

◎**硬式野球部**
 第65回春季東北地区高等学校野球
 岩手県大会
 1 回戦 盛岡中央 3-2 大船渡
 2 回戦 盛岡中央 17-2 盛岡工業(5回C)
 準々決勝 盛岡中央 7-0 関学院(7回C)
 準決勝 盛岡中央 4-6 花巻東
 3 位決定戦 盛岡中央 7-1 盛岡三
 第3位(11年振り東北大会出場)
 第65回春季東北地区高等学校野球
 大会
 2 回戦 盛岡中央 4-7 八戸学院光星青森

盛岡中央 3-0 水沢商業
 2 回戦 盛岡中央 3-0 江南義塾
 3 回戦 盛岡中央 2-3 福岡工業
 (個人戦)
 ダブルス竹田威(3Z3)・石田健(3Z4)
 1 回戦 対釜石 1-3
 シングル 石田健
 1 回戦 対水沢工業 3-0
 2 回戦 対花巻農業 1-3



◎**体操**
 [男子個人]
 個人総合 3位 高橋響(1A2)
 東北選手権・インターハイ出場



◎**囲碁将棋部**
 第42回全国高校囲碁選手権岩手
 県大会
 優勝 菊池 蒼(2SZ2)



◎**硬式野球部**
 第65回春季東北地区高等学校野球
 岩手県大会
 1 回戦 盛岡中央 3-2 大船渡
 2 回戦 盛岡中央 17-2 盛岡工業(5回C)
 準々決勝 盛岡中央 7-0 関学院(7回C)
 準決勝 盛岡中央 4-6 花巻東
 3 位決定戦 盛岡中央 7-1 盛岡三
 第3位(11年振り東北大会出場)
 第65回春季東北地区高等学校野球
 大会
 2 回戦 盛岡中央 4-7 八戸学院光星青森

盛岡中央 0-5 盛岡商業
 バスト16

◎**囲碁将棋部**
 第42回全国高校囲碁選手権岩手
 県大会
 優勝 菊池 蒼(2SZ2)

◎**サッカー部**
 JFA 第5回全日本U-18フット
 サル選手権大会岩手県大会
 準決勝 盛岡中央 FC 6-2 ヴィヴァレ
 決勝 盛岡中央 FC 5-1 クロスカリエ
 優勝



◎**硬式野球部**
 第65回春季東北地区高等学校野球
 岩手県大会
 1 回戦 盛岡中央 3-2 大船渡
 2 回戦 盛岡中央 17-2 盛岡工業(5回C)
 準々決勝 盛岡中央 7-0 関学院(7回C)
 準決勝 盛岡中央 4-6 花巻東
 3 位決定戦 盛岡中央 7-1 盛岡三
 第3位(11年振り東北大会出場)
 第65回春季東北地区高等学校野球
 大会
 2 回戦 盛岡中央 4-7 八戸学院光星青森

盛岡中央 0-5 盛岡商業
 バスト16

盛岡中央 0-5 盛岡商業
 バスト16

5月1日、アイススレッジホッケー日本代表、高橋和廣選手(西東京市役所)が帰国報告を兼ね、来校されました。高橋和廣選手は東京アイスバーズというチームに所属し活動しています。今回日本チームは最終予選を2位で通過し、バンクーバーパラリンピック以来8年ぶりに出場権を獲得。結果は8位でした。アイスホッケー部の生徒と交流し、生徒はいい刺激をうけていました。

同じく5月1日に、スキー・ジャンプ日本代表、小林陵侖選手(土屋ホーム)が来校されました。小林陵侖選手はラージヒル団体6位入賞、個人ノーマルヒル7位、個人ラージヒル10位と大活躍しました。懐かしい先生方やスキー部員と会話も弾み、サインを書いてくれました。

翌日5月2日(水)には、スキー・ジャンプ日本代表、小林潤志郎選手(雪印メグミルク㈱)が来校されました。小林潤志郎選手は、個人ラージヒル24位という結果でした。当日は、体育館において、小林潤志郎選手の帰国報告会が催され、小林選手から応援へのお礼と、「目標を一段高く持ち、楽しみながら生活してください」と激励をいただきました。最後にスキー部代表生徒(弟で平昌オリンピックテストジャンパーの小林龍尚さん(2B))から花束の贈呈がありました。



平昌オリンピック・パラリンピック日本代表 卒業生来校

リクルートマーケティングパートナーズ 木原啓孝氏

今後の10~20年で、米では47%、日本では49%の仕事が自動化される可能性が高い。アメリカの小学校に入学した65%は、今まだ存在していない職業に就くだろう。

工業化社会から知識基盤社会へと変化する過程で、新しい価値の創造(共創、異文化の中での多様性の許容、新たな価値の創造(イノベーション)が必要となってくる。

新卒採用において企業が重視するのは、1位コミュニケーション能力、2位主体性、3位チャレンジ精神ということであるが、一方で今の若者たちは、社会参加について意識が低く自分の将来に明るい希望を持っていない、大卒者の9.1万人(16%)が安定的な雇用がない、離職率(中卒65.3%、高卒40.0%、大卒32.3%)というような問題も抱えている。

このような社会変化の中で、学力観や入試制度も変わっていく。

学力観においては、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性)を身につけることが必要とされ、何ができるようになったか生徒自身が実感できること(振り返り)が重要であり、先生から「教わる」から自ら「学ぶ」へと変わってきている。



PTA講演会 「未来社会を創造する〜教育改革について〜」

盛岡中央高校 附属中学校が開校

開校式・入学式

盛岡中央高校では平成30年4月に附属中学校を開校しました。4月10日、午前10時から本校体育館において開校式が行われました。

当日は生徒たちを祝福するかのよう、天候にも恵まれ式の一切が滞りなく行われました。朝、緊張の面持ちで登校してきた生徒たちは、記念の花と附属中学校の生徒の証であるピンバッジを胸につけ、堂々とした面持ちで入場しました。

開校式では、龍澤学館理事長龍澤正美より附属中学校初代校長千葉研二へ、中学校旗が手渡され、開校の運びとなりました。引き続き行われた入学式では、理事長、校長から生徒への熱い激励と祝福、期待の言葉をいただき、生徒たちは決意を新たにしました。

また、開校に寄せて祝辞を岩手県知事達増拓也様代理 千葉副知事、盛岡市長谷藤裕明様代理 藤尾副市長よりいただき、全員から期待を寄せていただいていることを生徒教職員一同身の引き締まる思いで拝聴しました。その後、盛岡中央高校の各姉妹校からのビデオメッセージが上映されました。最後に新入生宣誓を代表の大山君がつとめ、これからの学校生活を責任と誇りを持って過ごしていくことを声高らかに宣言しました。

その後生徒たちは、保護者とともに各担任初のホームルーム活動を経験し、翌日からの授業への大きな期待を胸に抱いて、式は終わりました。



昇降口ステンドグラス



音楽室



正面玄関